

# 平成29年度家電リサイクル施設見学会 開催報告

東京鐵鋼(株)八戸工場



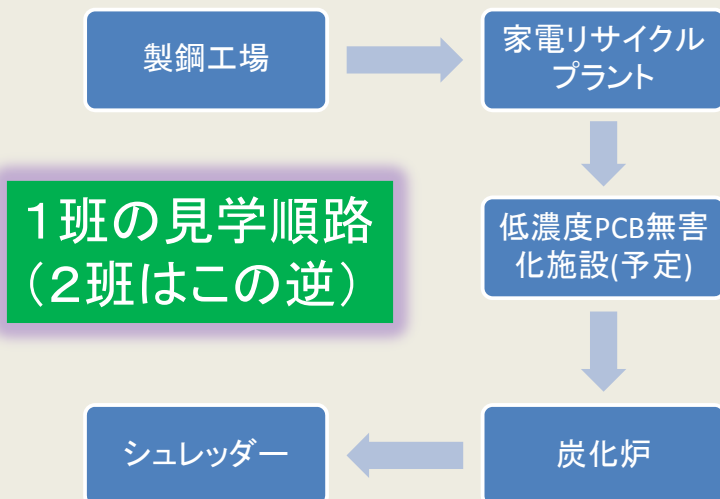
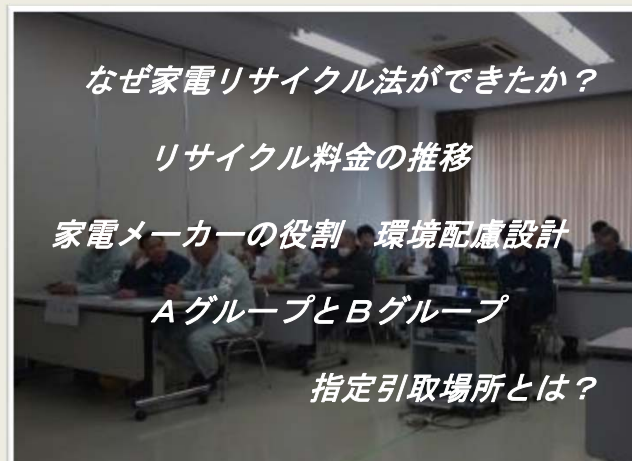
使用済みの家電4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)を廃棄する際は、再び資源として有効に利用するために、家電リサイクル法に定められた方法でリサイクルすることになっています。

東北経済産業局では、家電リサイクルの必要性と実態を学んでいただくために、「家電リサイクル施設見学会」を開催しています。

今年度は、10月25日(水曜日)に、青森県八戸市にある東京鐵鋼(株)八戸工場を見学場所として開催し、家電小売店や家電メーカー、一般消費者、行政の方々23名が参加されました。

見学に先立ち、無許可の回収業者に廃家電を引き渡すことの問題点を解説した動画を上映し、続いてパナソニック(株)リサイクル事業推進室の星野隆宏氏より、『家電リサイクル年次報告書』を用いて、家電リサイクル全般に関して説明しました。

その後、紹介ビデオを用い、東京鐵鋼(株)八戸工場の説明を行い、二つの班に分かれ、施設を見学しました。



東京鐵鋼(株)八戸工場が行っている事業は、家電リサイクルにとどまりません。会社名のとおり鉄鋼製品の製造とともに、自動車、小型家電のリサイクル、アスベストや医療廃棄物の処理、また年内には低濃度PCB無害化施設の稼働開始も予定されています。今回の見学会の参加者には、そうした設備もごらんいただきました。

## 廃家電のリサイクル工程



▶ 廃家電のリサイクルの流れは、まず手作業で大まかに分解され、部品の一部が取り出される（エアコン、冷蔵庫からは、冷媒フロンが回収される）。

写真は、家電第一工場内のブラウン管型テレビが処理される様子。

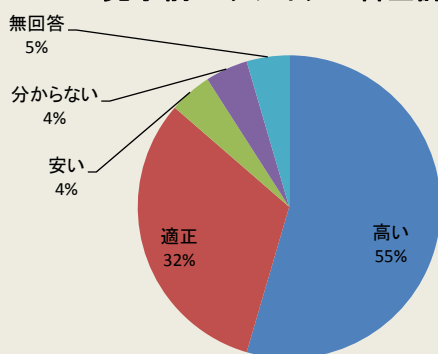


▶ その後、シュレッダーにかけ、選別した上で有用物を回収する。鉄くずは製鋼原料として電気炉へ供給され、非鉄金属くずは外部へ販売される。なお、残渣物は炭化炉で処理される。

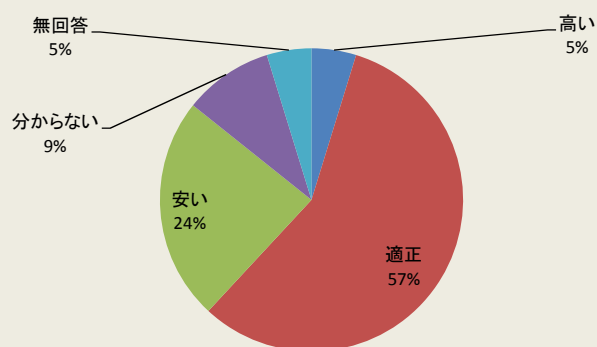
写真に写っているのが、巨大なシュレッダー設備。自動車にも使用される。

## アンケートの結果は？

見学前のリサイクル料金評価



見学後のリサイクル料金評価



参加者からのアンケートの結果を紹介すると、リサイクル料金に関する質問では、一番多い回答が、見学前は「高い」だったのが、見学後は「適正」となりました。見学会に参加いただいたことにより、リサイクル料金の妥当性について、理解が深まったと思われる。

見学会の感想は、77%の参加者が「非常に参考になった」、23%が「参考になった」という結果になりました。家電小売店の方からは、見学した成果をお客様が理解できるように説明したい旨のコメントもいただきました。